

# 早良区少年愛護パトロール員だより

～安全・安心の地域をつくるために、協力してパトロールでの声かけをお願いします～

平成30年 3月 13日/編集・発行 地域支援課振興係



## 平成29年度 早良区 少年愛護パトロール員報告書集計結果

※日々のパトロール活動、そしてパトロール報告書の提出ありがとうございました。平成29年度早良区少年愛護パトロールの結果をお知らせ致します。

1 報告数 (268件) 平成30年 3月12日 現在

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
枚数	5	23	15	28	28	32	18	19	62	21	17

2 報告書提出枚数 (平成30年 3月12日現在)

報告書提出枚数	0枚	1枚	2枚	3枚	4枚	5枚	6枚	7枚	8枚
人数 (71人)	15	10	7	11	4	6	4	4	5

※9枚以上 7人

3 内容別件数 平成30年 3月12日 現在

1 危険箇所	11	10 たかり	0
2 ゲームセンター	2	11 飲酒・喫煙	4
3 マンガ喫茶	0	12 深夜はいかい	0
4 たまり場	8	13 放置自転車	2
5 有害図書・広告	0	14 駐輪・駐車違反	2
6 危険・暴走行為	7	15 その他	20
7 万引き	0	16 異常なし	173
8 痴漢・不審者	2	※ 該当項目〇なし	37
9 薬物乱用	0		

異常なし (該当項目〇なしを含む) 約78%

※上記3の内容の詳細については次のページに記載しています。

## ★★ 活動報告について（詳細）★★

### 1 危険箇所

- ・交差点（野芥・荒江・原団地）、街灯のない路地、公園のトイレのドア、室見川護岸  
※ 現地調査（写真撮影、書類作成、関係機関に報告）
- ・蓋（ふた）のない用水路、川に下りる階段をふさいだ土嚢が老朽化 ※現地調査、報告書提出
- ・夏休み中、よく室見川の中で遊んでいる子どもがいて危なく感じた。
- ・荒江方面から来る車が、野芥四つ角で福岡大学方面に左折する際、工事後段差がなくなった歩道を乗り上げ、子どもたちにぶつかりそうになり心配しています。  
※ 現地調査（写真撮影、書類作成、関係機関に報告）
- ・部活動を行っている生徒の保護者による下校指導。部活動終了後生徒が一斉に出てくるので歩道からあふれ危険な場面があった。室見川松風橋東、金武中学校西室見川沿いの道路。※ 現地調査
- ・原団地、大原幼稚園第二別館の交差点から高取中学校へ行く道は狭くて、車がよけないので歩行者や自転車は非常に危険だと思った。この狭い道路で自転車に乗っている5歳～小学校低学年児童男子数人の車や歩行者を無視した乗り方に危険を感じた。（平成29年10月9日 8時5分～）  
※ 現地調査（写真撮影、書類作成、関係機関に報告）

### 2 ゲームセンター

- ・小・中・高校生は見当たらず、年配の方や、小さなお子さんを連れた若いお母さんでした。
- ・児童だけのゲームセンターの利用はできないので、児童に声をかける。

### 4 たまり場

- ・公園で男子中学生4人が菓子を食べて話していたので、帰宅するように声かけした。（21:00～21:55）
- ・公園に食べ物の空き袋やタバコの吸い殻が多くなっている。公園の駐車場に多くの車が止まっている、**交番に伝える。**
- ・花火大会で中学生～高校生が立入禁止区域に入ろうとして**何度も注意されていた。**
- ・〇〇団地内辺りで自転車に腰かけてたむろしている少年達がいる、雰囲気が悪かった。
- ・〇〇公園を帰る途中、車に誘い込まれることもあるのではないかと心配になりました。
- ・室見川外環状線の橋の下に6名の女子高校生がかたまって話し込んでいた。早く帰るよう**声かけ**しました。素直にに応じてくれました。
- ・〇〇団地のスーパー前の広場に高校生くらいの男子4～5名が自転車を止めてボールを蹴ったりしている。夜10時以降に子どもたちだけでたむろしている。
- ・自転車またはバイクで来店し、外でタバコを吸いながら、騒いでいたので110番しました。夏休み中は少なかったのですが、最近増えてきました。
- ・〇〇団地方面より奇声が聞こえ向かったが、自転車で逃げ、姿は見えなかった。夏休みあけから蝟集の通報が入るようになった為、中学校でも力を入れて対応されているとのこと。団地付近でタバコ。校区内外で中学生の集まりがあると報告受けた。

## 7 危険・暴走行為

- ・ノーヘル・2人乗りのバイクが逃走，ノーヘル・無灯火のバイク，**注意の声かけ**をする。
- ・高校生，自転車2台，無灯火，**口頭注意**
- ・バイク2台にそれぞれ2人乗りをして，蛇行運転や道路の逆走していた。とても危ない状態でした。
- ・小学5～6年生の男の子2人が自転車の蛇行運転をしていました。ハンドルは逆さにとりつけている。
- ・暗い中，スケボーで車道の真ん中を走行していた。危険かつ子どもには良くない手本だと思いました。

## 8 痴漢・不審者

- ・12月に不審者が出たこともあり，気を付けて巡回しました。

### 1 1 喫煙・飲酒

- ・〇〇公園に集まってタバコを吸っている子に対し，少年補導員と中学校の先生が**声かけ**をした。
- ・〇〇公園では，青パトを降りて巡回しますが，高校生がいつも数人でたばこを吸いながらスマホをしているので注意するも，言うことを聞かず，**駐在所の方に連絡して注意**してもらいました。

### 1 3 放置自転車

- ・コンビニの駐車場に放置自転車，**※現地調査をして写真を撮り，オーナー様と協議**
- ・内野大橋近くの公園に放置自転車 **※現地調査（写真撮影）報告書作成**

### 1 4 駐輪・駐車違反

- ・公園のトイレ前にタクシー2台と普通車2台が駐車

### 1 5 その他

- ・公園で爆竹のような音 ・二モカのカードを拾い，交番に届けた。
- ・自転車の無灯火を数名見ました。
- ・保護者も自転車に乗っていたが，子どもが狭い道路を占領する様な乗り方をしても全く注意しない。「迷惑になるから止まりなさい」「端に避けなさい」等幼いころから教えたほうが良いと思う。保育園や幼稚園でも指導してほしい。
- ・外壁のひび割れなどが危なくて気になっています。特に傾いたブロック塀は危ないと思います。
- ・公園，昨年度より2度ベンチを焼かれ，トイレもたびたび壊され，見通しも悪く夜はたいへんでした。つつじの垣根を公園管理課の方をお願いして取り除いてもらいました。おかげで夜のたまり場になることも少なくなりました。
- ・中学3年生の受験，就職の願いがこもったジャンボ絵馬を祈願し，中学校の玄関に取り付けました。その後田村小学校周辺の草やゴミを清掃しました。気持ちの良い環境で登下校して欲しいとの願いを込めて毎年実施しています。

(10) 異常なし：全体の 約78%

※パトロールを終わって，この活動が犯罪行為の抑止につながっているのだと感じました。

(11) 該当項目に〇なし：37件

## 早良区少年愛護パトロール員研修会

【平成30年2月7日(水)13:30～ 早良市民センター】



### 小田部だいこんの会紹介（マイタウン西新2月号に特集記事が掲載されました。）

#### ・できたきっかけ

平成13年4月 小田部小学校の児童が下校途中に車に連れ込まれそうになったのがきっかけです。

#### ・由来

小田部校区の名産「小田部大根」にちなみ「だいこんの会」と名付けて活動をはじめられたそうです。

#### ・活動内容

小学校の登下校の時間に合わせて青パトで巡回します。その時車の窓を開けて児童だけでなく、通勤途中の人にも挨拶をされています。民生委員、老人会、自治協議会、地域住民の有志も、大根の会とともに通学路に立たれて、交通指導や挨拶運動を行っておられます。

#### ・経過

平成17年には、自主防犯パトロールに使用する自動車に青色回転灯の装備が、福岡市で初めて認められました。パトロール回数も自治協議会役員の協力のもと、1日2回に増やされたそうです。平成20年には、中学生が痴漢に遭遇したことを機に、巡回エリアを原北中学校校区に広げ、中学生の部活の帰りの時間帯に合わせて巡回されています。

#### ・経費の捻出

ガソリン代+保険代+車両の維持費が年間約20万円かかりますが、結成4か月後に「こたべ餅」（※「はんごろし」にしたご飯に割り箸を刺し、炭で焼いて、醤油ベースの秘伝のタレをつけてさらに炭火で焼き上げる）を独自に開発し、経費を捻出されているそうです。

- ・スローガン

「できるときに、できることを」「子どもたちを守りたい、子どもの笑顔をまもる」義務も強制もなく、自分のペースで取り組める。

例えば、「こたべ餅を作るだけなら」「休日にあるイベントの手伝いだけなら」「仲間づくりをしたいから」などです。

- ・課題

メンバーの高齢化。結成から17年、創設メンバーが50代から70代で実働班の中心は自営業や退職組の古株が中心です、会長の持田さんは、小学校の入学式の日には必ず「だいこんの会」の募集を呼び掛けておられます。

- ・最後に

どこの校区でも、今では青パトで登下校に合わせて、交通指導や挨拶運動をされています。音楽を流して、校区をアナウンスしながら、くまなく巡回する青パトは防犯活動に極めて効果があると思います。

- ・街頭犯罪件数変化

平成13年、約250件あったのが、平成28年には21件と激減しています。

安全・安心で住みやすい校区を作るのは、他人ではなく、自分たち一人ひとりの活動と意識の高まりだと思います。

**講話 『子どもたちの健やかな成長を願って』**

**福岡県警察本部少年課 少年サポートセンター 少年育成指導官 上野 敬子 氏**



**※福岡県警少年サポートセンターの紹介**

こどもたちの心の声、聞こえていますか？ 県下に15名の少年育成官がいます。

少年サポートセンターの業務内容

( 少年相談, 立ち直り支援, 街頭指導, 広報啓発 )

- 子どもに会って直接話を聴く
- 今は街頭指導でゲームセンターに行っても、若者がいない。
- インターネット被害
- サイバー補導活動
- 問題行動を起こす子ども(暴力, 暴走, 薬物, 援助交際など)
- 背景には何らかの問題(苦しみ, 悲しみ, 辛い思いなど)を抱えている。
- こんなに素直な部分があるのに…。
- 社会から白い目で見られて

**※ 事例1 万引き, ガム一個SOS**

- 「悪いのは僕だから、ママを怒らないで」
- 小学2年生がなぜ? ・コンビニで何回か許されている。何で盗みに走ったのか?
- 寂しかった, 抱きしめられたかった。
- 万引きは, 愛情の代償行為
- 6人兄弟で養護施設に預けられた。
- ほっとらかされても, ママの愛, ぬくもりを求めている。
- 万引きは根深い問題

※ 事例2 ヤンキーだって共感してほしい。「暴力は自分を守る術だった。」

- ・ヤンキーグループの番長との出会い
- ・最初は視線が合わない。少年院に入ってはくがついた（間違っただけを学んでしまった）
- ・聴いて核心に触れる
- ・こちらから手を引いたらいかん
- ・立ち直りのきっかけ
- ・子どものすべてにNO！
- ・追い詰められた子どもたちの行き着く先
- ・家庭内暴力 何が怒りを引き起こす？

※ 事例3 親の期待に応える。何でもっと期待に応えられなかった？

- ・何でもっと頑張れなかった？・発達障害もある、みんなある程度のデコボコが誰でもある。
- ・追い詰められて暴力に走る。 ・出来ないところに焦点が当てられる。
- ・スマホゲームに依存している子どもからスマホを取り上げるのは逆効果  
これらが原因で不登校、家庭内暴力に
- ・外出禁止、お小遣いなし ・ゲームによる達成感 ・自己回復を図れる、ゲーム・スマホ
- ・怒るだけでは意味がない、ただの大人の自己満足
- ・どんなことをしても、失敗を許してくれる大人の存在が必要
- ・家庭内暴力は、第三者が入らないと解決しない。

※ 事例4 「私は生まれてきた意味があったのですか？」性非行を繰り返す女の子

- ・お父さんを探し、一晩ウロウロしていた、やっとお父さんを探し出しお父さんに会うと「おまえはお母さんの子だから」と言われた。・性非行、早熟、未熟 ・抱きしめてもらえる男の人を求めて
- ・里親に預かってもらった ・おはよう、周りの人の愛を受けながら、生きる力を吹き返す
- ・周りの大人の関りが大切 ・話だけでなく、DVDを見せる ・非行から立ち直っていく

※ 子どもたちとインターネット

- ・インターネットで調べる、探す ・メールをする ・ゲーム、音楽、動画、買い物、出会う
- ・迷惑メール、写真バラマキ、友人とのトラブル、ピンマーク、つぶやいた場所が特定されてしまう
- ・ネット上に拡散された画像 ・1回、回った画像は回収できない・就職、結婚、一生が台無しになる
- ・アダルトサイト ワンクリックで請求されることはない ・失敗したとき、よく言ってくれたね
- ・サイバー補導 H28年度  
(中学10%,高校45%,大学8%,専門学校9%,有職4%,無職14%,アルバイト10%)

※ 最後に

- ・ 柔らかく救えて生きる30の知恵・もっと身近な子どもが何かしら、トラブルに関係したとしたら
- ・ いま、この時点でわかって良かった，教えてくれてありがとう・相談して良かったという
- ・ **最後まで，話を聴いてほしい，認めてほしい，励ましてほしい** ・日々の当たり前の幸せ
- ・ ありがとう，嬉しい，励ましてほしい，プラスの表現・君だったら出来るよ
- ・ 気になる子を見かけたら ・目が合ったら，出来れば挨拶を
- ・ 心の中にもぐり込んで，どんな支援が必要か・もっと行けそうだったら「どうしたん？」と声かけ
- ・ 「会えて良かった，話せて良かった」「ありがとう」・無理しなくて良い
- ・ **集団で気になる行動をしていたら**

( 110 番，福岡少年サポートセンター092-841-7830 )



## 福岡県警少年サポートセンター講話を聞いての感想

- 愛情を込めて子どもを育てることが本当に大事だなと改めて思います。抱きしめたり、共感したり親がいつも味方でいてあげたいなと思います。少年院に入った子の話なども聴けて、貴重な時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。
- 毎日の中からの気付き、声かけが大切だとわかりました。子どもの話を否定せずじっくり聴こうと思います。地域の子どもにも、もっと関心をもって見守っていこうと思いました。
- 非行の主な原因はつくづく愛情不足なのだと思うのですが、親自身が愛情を受けていないと、どう子どもに接すべきかわからないのかも。
- 子どもの話を最後まで聴く、子どもが出しているSOSに気付ける人になればいいと思います。
- 非行に走る子どもの様々な事例を聞き、信頼できる大人の存在の大きさを感じました。特に一番身近にいる親からの愛情は大切だと思いました。日頃から子どもからの声に耳を傾けていきたい。
- 気になる子どもを見かけたら、目が合ったらニッコリ挨拶！
- 子どもの生活する環境が大切なことに改めて感じた。子どもには罪はなく、保護者の関り方の問題が大きいと思う。子どもの育成だけでなく保護者の育成の方が大事であると思う。学校関係の方や地域の方の情報が子どもの命を助ける事につながると思う。
- 5人の子どもがいますが長男は引きこもり、長女は非行、末子は低学年で姉のサイフからお金を取ったり、それぞれいろいろありました。その時はSOSのサインがわからず、悩むことが多かったです。今のお話を聴いてたくさん気付かされました。子どもたちも大きくなり、改善して行っていますが、また困ったときに相談できる場所があることを知り安心しました。
- 愛情の代償行為で問題行動を起こすという事がわかり、まずは家庭内の事を反省しました。話を最後まで聴く。SOSを出すのを見落とさないなどそれぞれの家庭内での子育てが大切だとわかりました。
- 問題行動にはすべて原因があるという事が分かった。話をよく聴いてあげて共感することが大切だと思った。気になる子がいたら、笑顔で対応すると良いという事が分かった。
- 小学校、中学校の講演会等でもぜひ話していただきたい内容でした。
- 自分の子育てについても、いろいろと考えるところもあり、たいへん勉強になりました。
- 子どものサインを見逃さず子育てをしていくことが大切と改めて思いました。
- 本当に心から子どもたちに寄り添っている姿が感じられて素晴らしい内容でした。
- 問題を抱えている子どもたちの心の病、深層心理を理解してよく話を聴いてあげることが子どもを救うことになると思いました。犯罪に走る事は心の爆発だと思います。爆発する前の予防策を講じる必要があると思います。最も大切なのは親の愛情と子どもとの会話そして認めてあげることが重要だと感じました。
- ついつい自分の気持ちが先走ってしまう子育ての母ですが、また今日から気持ちを新たに頑張ります。
- やはり子どもが最初から悪いことはないと思う。親や周囲の大人の関り間違い、認識違いが原因であると思う。親が間違っても周囲の大人が見守ってやることで救えることもあると思う。
- お話を伺うと、子どもの発達障害、虐待、親子関係の歪み、いろいろな問題が複雑に絡み合っているのだなと思いました。自分の家庭でも、今日お話しいただいたことを、実践したいと思います。
- 万引き、窃盗などは愛情への裏返しということがわかりました。

## 早良区少年愛護パトロール員 1年間の活動を振り返って思うことをお書きください。

### (1) パトロール活動を通じての気付き

- ・パトロールによる声かけや巡回により、犯罪の抑止につながっていると思いますし、子どもも安心して登下校できると思います。地域の方々の活動に感謝しています。
- ・自治会の方とパトロールをしたとき、防犯カメラの場所や外灯の暗いところなど教えて頂いて良かったです。
- ・パトロールは地域の「だいこんカー」でパトロールしています。子どもたちもパトロールカーを見るだけで、安心したような顔を見ることができるので、やっぱり、見守りは必要だと思います。
- ・地域を見守る大切さを知り、今まで携わってこられた方への感謝の気持ちです。
- ・パトロールをすることで地域の方も安心できるし、子どもたちの非行防止に繋がっていると感じます。
- ・歩いてパトロールすると、車で通っているだけでは見えない危険な箇所が見えてきました。
- ・中学生以上はパトロールをしていてもなかなか言う事を聞いてくれませんので校区の派出所と連絡が取れるようにしています。

### (2) 地域の非行防止・青少年健全育成について思う事

- ・高校生の無灯火自転車が気になります。 ・保護者の指導が必要だと思います。
- ・ボランティアで子どもたちに関わってくださっている方たちもおられます。
- ・青パトは良いことだと思います。パトロールの意義はよくわかりました。
- ・今は「ひきこもり」のほうの問題だと思うので「地域の役割」も変化していくと思います。
- ・これからも地域の人たちで見守り続けていけばと思います。
- ・今、孤立している家庭（核家族）が多い。私も今回役員をして交流が出来ているので、いろんな方に役員になって交流を持ってもらいたい。
- ・たくさん大人とつながると非行防止につながると思います。私も少年愛護パトロール員が終わっても頑張る声かけしたいと思います。
- ・毎日の通学時の見守り活動で、子どもと顔を合わせ、声かけて知り合いになる、そういう大人がたくさんいることが非行防止に大いに貢献していると思います。
- ・本日のお話を忘れずに、皆で地域の子どもたちを見守っていきたいと思います。ボランティアの方の活動有難いと思いました。
- ・声かけを始めて10年が経ちました。20年前広島で暴走族相談員として活動をしたのが始まりでした。子どもの貧困・非行・犯罪等々問題は山積しています。メディアで報道されますが、何事も現場で知ることが大切です。家庭が、大人が、社会が悪い時には自己責任の批判も耳にします。しかしどんなに周りが騒いでも最終的には当事者がどうするかです。本人が自身の足で立つこと（エンパワメント）だと思っています。声かけも10年経ってやっと芽が生えかかったところだと思います。周囲の環境で芽が寒さにやられるかもしれません。力のない芽で栄養が行き渡らず枯れるかもしれません。期待せず希望を失わず活動が続けられればと思っています。子どもたちの様子ですが、少しずつ分かりかけてきました。しかし社会からはその実態が見えないことが大きな問題かと思っています。少年愛護パトロールの身分証は自己紹介の少年たちだけでなく、交番、コンビニ、病院を訪ねる時など、信用を得るのに非常に役立っています。